

まちづくりの主体

まちづくりの推進に当たっては市民・団体や事業者、行政がそれぞれの役割を担い相互に連携し、一体となって取り組んでいく必要があります。

役割	市民・団体
市民・団体	自分たちのまちを自分たちでつくるという思いを持ち主体的にまちづくりに参画する
事業者	パブリックマインド（公共精神）を持ち、事業活動を行う
行政	まちのにぎわいに向け関係機関・部署が連携して市民・団体や事業者をサポートする環境をつくる



みんなの意見

意見が出た場 神辺駅周辺のにぎわい創出協議会 かなべ未来会議 地域のイベント [かなべ福祉まつり、麻塾まつり、動く江戸空間、かなべストリートフェスティバル]

神辺の魅力自慢

豊かな自然が近い、古い町並み、地域のつながり、人柄が良い、歴史文化資源が残っている、商工団体が存在する、ものづくり企業が多い、駅の雰囲気が良い、生活に便利なものがそろそろ、静か（のどか）な街の雰囲気、夕日がきれい、偉人（菅茶山、葛原勾当、葛原しげる、箱田良助など）を輩出、交通の利便性が良い、人口が増えている、こどもが多い

思い描き 自ら動く めざすまち

出合い

- ・ eスポーツ^{※1}や劇場など新たな分野の複合施設をつくり、備後地域の異文化交流の拠点にしたい
- ・ 様々な人がイベントを開催しやすい公園をつくり、チャレンジする人が増えいつでも新しい発見や出合いがあるまちにしたい
- ・ 歴史文化、産業について学び直すために、令和麻塾をつくり神辺や周辺の住民が連携できるまちにしたい

観光

- ・ 古民家を改修してゲストハウス等とし、宿場町が体験でき、建築物を保存し後世に伝えていけるまちにしたい
- ・ 周遊型謎解きゲームをつくり、歴史や魅力を発信し大人からこどもまで訪れるまちにしたい
- ・ 駅前の通りに観光名所となる街路樹を植え多くの人を訪れるまちにしたい
- ・ 観光バスが立ち寄れる拠点やまち歩きマップなどを作成し、観光客が増え住民にとって誇れるまちにしたい
- ・ 高屋川と神辺駅周辺をつなぐウォーキングロードをつくり自然を感じながら体を動かし観光できるまちにしたい
- ・ 古墳などの遺跡をガイドし、弥生時代から現代までの歴史に触れてもらうことで心豊かになるまちにしたい
- ・ 神辺駅周辺にイベントができる場所をつくることで徒歩を移動手段とする人が増え町並みを楽しめるまちにしたい
- ・ 歴史的な町並みを生かし歩いて楽しめるまちにしたい

暮らし

- ・ 衣食住の利便性に特化し安心して子育てができるまちにしたい
- ・ 井原鉄道の終点駅としてお店のある駅にすることでこども連れでも楽しめるまちにしたい
- ・ こどもの遊び場をつくり若い人が住みやすいまちにしたい
- ・ 古民家を改修し、福山駅前とは違いビジネス本位でなく生活者が出歩くまちにしたい
- ・ 歴史ストリートをつくり、まちに学生やこどもが増えチャレンジ・夢が実現できるまちにしたい
- ・ 妊婦さんに過ごしやすい食の提案と赤ちゃんの交流の場をつくり、共に助け合いみんながつながったまちにしたい
- ・ 図書館やカフェ、公園が併設された施設をつくり老若男女が集え、暮らしやすいまちにしたい
- ・ 世代関係なく集まれるBarのような喫茶店をつくり、色々な世代と交流でき、協力し合えるまちにしたい

ご協力ありがとうございました！

「かなべにぎわいビジョン2024」は、かなべ未来会議に参加いただいたみなさんと神辺駅周辺のにぎわい創出協議会のみなさん、地域のお声をとりまとめ一緒に作りました。



お問合せ先

福山市神辺地域振興課

kannabe-chiikishinkou
@city.fukuyama.hiroshima.jp

084-962-5026

福山市神辺建設産業課
川南まちづくり担当

kawaminami-machi
@city.fukuyama.hiroshima.jp

084-962-5021

※1 エレクトロニック・スポーツの略で、広義には電子機器を用いて行う棋類、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称



かなべ
にぎわい
ビジョン
2024

えき
むすびの驛かなべ

かなべでむすぶ

新たな未来

神辺らしさを大切に
新たな活動や空間を産み
人が出歩き行き交う
訪れる人も暮らす人も
幸せを感じるまち
「むすびの驛かなべ」
ヒト・モノ・コトが集い結ばれ
笑顔あふれにぎわう未来へ
みんなの一步を応援する旗印



かなべにぎわいビジョン2024とは？

川南地区の社会基盤整備や地域の主体的な取り組みで、まちが動き始めた神辺駅周辺における魅力や地域の活動、これからやりたいことなどを描きました。今後、新しい活動や空間が産まれることで、イラスト以上に笑顔があふれ、にぎわうことをめざします。

何のためにつくったの？
まちづくりに関わる人を増やし、地域が主役となったまちづくりが進むことを目的としています。

何年後の姿？
おおむね10年後を目安としています。

どこが対象？
神辺町全域が対象ですが、まずは神辺駅周辺から広がっていくため、神辺駅から半径1 km程度を主に描いています。

「むすびの驛（えき）かなべ」

に込められた想い/めざすまちの姿
神辺らしさを生かした活動/空間を産み人が出歩き行き交う「めざすまちの姿」や歴史、まちの特色を「むすび」で表しています。また、まちを駅に見立て、訪れる人や暮らす人をつなぎ、こどもから高齢者まで「幸せ」を感じるまちの姿を旧字体の「驛（えき）」で表しています。

詳しく

- 歴史の結び
ヒト・モノ・コトが行き交い結ばれた宿場町の歴史 歴史文化を受け継ぎ次世代につないできた活動 交通の要所/広域エリアのアクセス拠点
- まちの特色の結び
神辺駅を挟んで特色の異なるエリアがつながる 神辺町全域や周辺部へにぎわいをつなぎ広げる役割
- 新しい活動/空間を産す（ひ）
ヒト・モノ・コトがつながり、結ばれることで新たな活動/空間を産む

Point

- 神辺らしさを大切にしよう
- 歴史文化を生かさそう
- 豊かな自然を生かさそう
- 学び（チャレンジ）の視点を持とう
- 新しいまちに関わろう
- 公共空間を生かさそう

イラストを詳しく見てみよう！！



神辺駅西口周辺が整備され、屋外スペースにはカフェも。地域の大人からこどもまで、みんなの交流の場に！



地域が進める歴史文化を生かしたまちづくり。ハネ踊りや廉塾バラの普及活動、神辺遺産の認定。外国人観光客も訪れるまちに！



公園で読み聞かせ。学びの場として活用もでき、触れ合える身近な自然もある。



地域と学生の交流拠点。観光案内やコワーキングスペースとしての活用も。



みんなが利用できるこども食堂。こどもや高齢者などみんなに優しいまち。



古民家を活用した宿泊施設。まち歩きや観光の拠点になり多くの観光客が訪れる。



ウォーキングやサイクリングコースを設定。歴史クイズや夕日の眺めなどみんなで楽しく健康に。



神辺を周遊するバス路線の運行やマルシェの開催。駅周辺以外にも神辺町には自然や地域資源がたくさんある。神辺町全体も見据え、神辺駅周辺がにぎわってくる。